

3 月定例所長会見における横村所長挨拶内容

- 所長の横村でございます。本日は、私の方から 4 点申し上げます。
- まずは、プラントの状況についてです。

5 号機につきましては、先月 18 日に原子力安全・保安院の総合負荷性能検査を終了し、営業運転を再開いたしました。中越沖地震以降、約 3 年半にわたり点検・復旧、耐震強化工事などに社員や協力企業の皆さんと安全第一で取り組んでまいりました。これまでの間、地域の皆さまをはじめ、多くの方々より貴重なご意見、ご支援ならびにご指導をいただきましたことに改めて感謝を申し上げます。

3 号機につきましては、昨年 11 月 16 日から系統機能試験を開始し、全 26 項目の試験のうち、これまでに 20 項目について試験を終了し、問題がないことを確認いたしました。

現在、残りの系統機能試験として、原子炉保護系インターロック機能試験、原子炉格納容器漏えい率試験等、機器・系統機能試験に係わる作業がありますので一つ一つ着実に実施しております。

6 号機につきましては、定期検査に伴う調整運転を続けておりましたが、昨日、原子力安全・保安院による総合負荷性能検査を終え、営業運転を再開しております。
- 2 点目は、7 号機の使用済制御棒で確認されたひびに関する対応状況についてです。

現在、ひびが確認された制御棒 4 本のサンプルについて、試験施設において破面調査などを継続して実施しております。これまでの調査において、全てのサンプルについて応力腐食割れに特徴的な粒界破面が確認されていますが、今後、ひびの発生原因や発生メカニズムなどについて、最終的な評価結果として取りまとめ、原子力安全・保安院へ報告するとともに、お知らせしてまいります。

なお、既にご案内の通り、これらのひびに関しては、これまで確認されたものより厳しい条件で発生したと仮定しても制御棒の構造健全性は維持され、制御棒挿入機能に影響を与えるものではないことを評価しておりますが、念のため、7 号機の同型制御棒については月 1 回の頻度で動作確認を行い、問題がないことを確認しております。
- 3 点目は、高圧ガス保安法に関する対応状況についてです。

先月 28 日に高圧ガス保安法の手続きに関する再発防止対策を取りまとめご報告しておりますが、3 月 8 日に新潟県より高圧ガス保安法の遵守に関する注意をいただきました。当社は、このたびの注意を真摯に受け止め、取りまとめた再発防止対策を徹底し、高圧ガス保安法に基づく工事手続きの遵守に努めてまいります。
- 4 点目は、技術技能競技大会の開催についてです。

当社では、電力の安定供給の基盤となる技術・技能を維持・向上させるための取り組みとして、部門毎に技術技能競技大会を開催しております。原子力部門においても、これまでに福島第一原子力発電所において運転、保全、放射線管理、燃料管理などの部署ごとに、柏崎刈羽、福島第一、福島第二の 3 原子力発電所の代表者チームが大会に参加して、専門性の高い技術・技能を競い合い、力量の向上を図る取り組みを実施

しておりましたが、このたび当所において初めて、放射線管理部門の技術技能競技大会を開催することとなりました。

開催日程は今月 23 日、競技内容は、発電所管理区域内での火災に伴う汚染負傷者が発生したことを想定し、その際の初動対応、傷病者の放射能測定、管理区域の設定などについて各発電所からの代表者チームが日頃から培ってきた放射線管理の技術・技能を発揮し競い合い、「安全」・「品質」・「効率」の観点からその力量を審査するというものです。

この競技大会については、あらためて、取材のご案内をさせていただきますので、是非、皆さまからご取材いただきたいと思います。

当社では、こうした取り組みを継続し、発電所所員の技術・技能の維持・向上に努め、発電所の安全・安定運転にこれからも全力で取り組んでまいります。

○ 本日、私からは以上です。

以 上

添付) 柏崎刈羽原子力発電所DATA BOX

プレス公表 (運転保守状況)

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成23年3月)

平成23年3月10日

① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況													補足説明
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
1号機 110万kW (S60.9.18運開)	運転中	第15回 H19.5.4～H22.8.4 停止期間 H19.5.4～H22.6.6 (1130日) (原子炉起動H22.5.31)	↓第15回定期検査による停止													
2号機 110万kW (H2.9.28運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H19.2.19～	第11回 H17.9.3～H18.5.9 停止期間 H17.9.3～H17.12.25 (114日) (原子炉起動H17.12.22)	↓第12回定期検査による停止													
3号機 110万kW (H5.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H19.9.19～	第9回 H18.5.12～H18.9.15 停止期間 H18.5.12～H18.7.27 (77日) (原子炉起動H18.7.24)	↓第10回定期検査による停止													
4号機 110万kW (H6.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H20.2.11～	第9回 H18.4.9～H19.1.11 停止期間 H18.4.9～H18.12.14 (250日) (原子炉起動H18.12.11)	↓第10回定期検査による停止													
5号機 110万kW (H2.4.10運開)	運転中	第12回 H18.11.24～H23.2.18 停止期間 H18.11.24～H22.11.25 (1463日) (原子炉起動H22.11.18)	↓第12回定期検査による停止													【5号機】 ・2月18日に営業運転開始。(お知らせ済み)
6号機 135.6万kW (H8.11.7運開)	運転中	第9回 H22.10.31～H23.3.9 停止期間 H22.10.31～H23.1.26 (88日) (原子炉起動H23.1.23)	↓第9回定期検査による停止													【6号機】 ・3月9日に営業運転開始。(お知らせ済み)
7号機 135.6万kW (H9.7.2運開)	運転中	第9回 H22.4.18～H22.7.23 H22.4.18～H22.6.28 (72日) (原子炉起動H22.6.26)	↓第9回定期検査による停止													【7号機】 ・平成22年10月1日から漏えい燃料周辺の制御棒6本を挿入した状態で、定格熱出力一連運転中。(お知らせ済み) ・2月18日にハフニウムフラットチューブ型制御棒の動作確認を実施し、「異常なし」。 次回の動作確認予定は3月中旬。

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

② 発電所設備利用率(%) (2月末現在)

2月	61.3%
22年度累計	39.5%
運転開始後累計	64.6%

③ 発電所発電電力量(万kWh) (2月末現在)

2月	338,391
22年度累計	2,601,823
運転開始後累計	84,306,083

④ ドラム缶発生量(本) (H22年度第3四半期)

当期発生本数	696
貯蔵庫累積貯蔵本数	31,224
貯蔵庫保管容量	45,000

⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (H22年度第3四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	13,160
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

⑥ 構内従業員データ(人) (3月1日現在)

		東京電力	協力企業	比率
県内	柏崎市	865	2,701	53%
	刈羽村	80	243	5%
	その他	106	1,146	19%
	小計	1,051	4,090	76%
県外		98	1,510	24%
合計		1,149	5,600	-
		6,749		100%
協力企業社数(社)		769		

※「比率」について端数処理の関係で数値と計が含まない場合がある。

⑦ 来客情報(人) (2月末現在)

	2月	年度累計
地元	1,369	17,402
県内	943	13,743
県外	657	28,169
国外	111	803
合計	3,080	60,117

⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
3月12日	ハーバル体験教室(き・な・せ) 第2回講座「ハーブティーを楽しむ!」と「発電所構内バス見学」
3月13日	ミュージックライブ アット カムフィー(カムフィー) 第一部:真季、第二部:カナデフウビ
3月17-18日	第145回名画鑑賞会(柏崎エネルギーホール)
3月17-24日	初めてのズンバ教室(柏崎エネルギーホール)
3月19日	雪割草体験教室(き・な・せ)
3月21日	とうでん 今・話・会。(柏崎市民プラザ 海のホール) 「次の世代へのメッセージ ～今私にできること～」講師:住田 裕子
3月25-26日	春休み☆親子で行く!発電所見学会(サービスホール)
3月26日	Comfy サイエンススクール(カムフィー)
4月14日	次回定例所長会見予定

インターネットホームページアドレス
<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/index-j.html>

東京電力株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部
 0257-45-3131(代)

プレス公表（運転保守状況）
～中越沖地震関連を除く～

平成23年3月10日
定例所長会見資料

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
①	2月22日	6号機	原子炉建屋（管理区域）ポンプ室内の床面における放射性物質による汚染の確認について（区分Ⅲ）	<p>（事象の発生状況） 定格熱出力一定運転中の当所6号機において、平成23年2月21日午後0時15分頃、原子炉建屋地下3階の原子炉冷却材浄化系逆洗水移送ポンプ（A）室（管理区域）において、協力企業作業員が、ポンプ点検前の準備作業として放射能測定を実施したところ、同ポンプ室内の床面の1箇所に、社内で定める基準値（4ベクレル/cm²）を超える汚染（4.5ベクレル/cm²）を確認しました。</p> <p>（安全性、外部への影響） 同ポンプ室出入り口において放射性物質による汚染はなく、管理区域内のその他のエリアへの放射性物質による汚染の拡大がないことを確認しており、本事象による外部への放射能の影響はありません。 なお、今回確認した汚染（4.5ベクレル/cm²）は、主要なラドン温泉1滴程度（0.4cc）が床面1cm²に付着した場合と同じレベルのものであります。 また、放射能測定を行っていた協力企業作業員に、身体への放射性物質の付着や体内への取り込みおよび計画外の被ばくはありませんでした。</p> <p>（対応状況） 同ポンプ室内の床面で確認された放射性物質については、2月22日、拭き取り清掃を実施し、再度放射能測定を実施して、測定値が基準値以下であることを確認しました。 <u>現在、放射性物質による汚染の原因について調査中です。</u></p>